

# 1 就業規則はなぜ大切なのか

## 就業規則は会社の基本ルールを定めたもの

サッカー、バスケットボールなど、チームスポーツには、必ずチームごとのルール（約束事項）があります。このルールは、選手各人にある程度の制約を課すことになるかもしれませんが、「勝利」のためには必須のものです。

会社の就業規則も、このルールと似ています。会社には、さまざまな個性・能力をもった社員がいます。その社員たちをまとめあげ、企業秩序を維持し、法令や企業倫理を遵守し、さらに個の力を引き出していくには就業規則というルールが必要です。

労働基準法が、「労働者が10人以上になったら就業規則を作成しなければならない」と定めているのは、まさに当を得ているといえるでしょう。

## 就業規則をつくる目的は

就業規則は、社員を監視し、会社の意のままに働かせるためのものではありません。会社と社員がお互いの権利を守り、かつ義務を果たしながら、会社を发展させていくことを目的としています。

たとえば、就業規則には、どのような行為が懲戒や解雇の対象になるのかが書いてあり、これによって、会社が意のままに社

員をクビにしたり、懲戒処分を下すことを防ぐことができます。

したがって、就業規則をつくる際には、その目的を逸しないようにしましょう。目的に焦点を合わせていないと、どんなに時間をかけて就業規則を作成したとしても、会社と社員にとってプラスにならないでしょう。

## 押さえておきたい作成・改定のポイント

就業規則の作成または改定に際しては、必ず次のポイントを押さえておきましょう。

### ①あいまいな部分を排除する

後々のトラブルを防止するためにも、あいまいな部分は極力排除することを心がけます。

たとえば、会社として「誕生日休暇」をつくったとします。では、その誕生日休暇は有給、無給のどちらでしょうか。休暇の有効期限はあるのでしょうか。取得する条件、たとえば勤続年数などはあるのでしょうか。

そういった、誰もが抱くであろう疑問については、あらかじめ就業規則に盛り込んでおくことが大切です。何らかの制度をつくり、その条文案を作成しようとする場合は、「自分がこの制度を利用するとしたら、どんな疑問をもつだろうか」と自問することをおすすめします。

## ②バランスに配慮する

就業規則の目的は、会社と社員が互いの権利を守り、かつ義務を果たしながら、会社を発展させていくことです。したがって、社員が果たすべき義務の不履行が生じた場合のペナルティについても記載していくことになります。

一方で、社員側の権利、たとえば休暇、賃金、休職などもおろそかにしないようにしましょう。

## ③無理をせず自然体で

就業規則を作成するうえで、会社として実施不可能なこと、身の丈に合わないことを盛り込むのは厳禁です。最初から完璧なものをつくらせず、「会社の体力などの条件が整うごとに拡充していく」という気持ちで取り組むとよいでしょう。

## ④法律を遵守する

当然のことですが、法律に抵触しないようにしなければなりません。そのためには、頻繁に行なわれる法改正について、常にアンテナを張っておきましょう。

## ⑤定期的に見直す

一度、就業規則を作成したら、それっきりののではなく、定期的に見直しを行なうことが大切です。

### 就業規則の未作成と内容の不備がもたらすリスク

就業規則を作成していなかったり、内容に不備があると、次のようなリスクや問題が生じるおそれがあります。

## ①労働基準法違反という「法的リスク」

就業規則を作成すべきであるにもかかわらず、作成・届出を怠っていると、労働基準監督署の立入調査があった際には「是正勧告」を受けることになります。

是正勧告とは、法違反に該当すると認められる事項について、労働基準監督官が是正を勧告することです。

## ②社員を統率できない

会社としての基本ルールがない、または、規則があっても不備があるわけですから、社員を統率することができません。

## ③対応があいまい・恣意的になる

会社の社員に対する対応（処遇）があいまいかつ恣意的なものになり、社員が不公平感や不満をもつことになります。

## ④トラブル解決の根拠がない

万一、労務トラブルが生じた場合に、「解決の根拠」となるものがありません。たとえば、経営者が禁止したい行為を社員がした場合、就業規則がないと、「してはいけないとは知りませんでした」などと言われる可能性もあります。その結果、解決に必要な以上の労力や時間がかかり、本業に大きな影響が及ぶ可能性があります。

さらに、法律のように、あらかじめ法違反となる行為を設定しておかないと、社員側にとってもフェアではありません。確固とした証拠となる就業規則を整え、トラブルに備えることがリスク管理の面からも大切です。